原子力システム研究開発事業
基礎研究開発分野　革新技術創出発展型
事後評価総合所見

研究開発課題名：**照射を目指したMA合金燃料の製造基盤技術の開発**

研究代表者（研究機関名）：有田裕二（国立大学法人福井大学）
再委託先研究責任者（研究機関名）：中島邦久（独立行政法人日本原子力研究開発機構）
再委託先研究責任者（研究機関名）：中村勤也（一般財団法人電力中央研究所）

研究期間及び研究経費：平成２２年度～平成２４年度（３年計画）　２８５百万円

項　　目	要　　約
１．研究開発の概要	マイナーアクチニド（MA）は軽水炉プルサーマル発電や高速炉発電において多量に発生し、その処分負担が大きくなることが予測される。高速炉で効果的に燃焼できるMA合金燃料の実規模製造技術を、その製造支援技術とともに開発し、MA合金燃料照射試験に対応可能な技術基盤を構築した。
２．総合評価　**A**	射出鋳造法によるMA 合金燃料を製造するための基盤技術の確立、in situ モニタリング技術の適用、燃料挙動評価等において優れた成果が挙げられており、MA燃焼のための金属燃料の製造から再処理に至るまでの基盤が構築され、実用化に向けての道筋が付けられた。
	Ｓ）極めて優れた成果が挙げられている。 **Ａ）優れた成果が挙げられている。** Ｂ）一部を除き、相応の成果が挙げられている。 Ｃ）部分的な成果に留まっている。 Ｄ）成果がほとんど挙げられていない。